

令和5年度

第2回

越谷市立図書館協議会

《会議録》

日	時	令和5年8月1日(火)
		午後3時30分～4時15分
会	場	市立図書館 2階 視聴覚ホール

## 令和5年度第2回越谷市立図書館協議会 会議録

1 開催日時 令和5年8月1日（火）午後3時30分～4時15分

2 開催会場 市立図書館 2階 視聴覚ホール

3 出席者

(1) 委員

岩元久徳議長、飯島孝子副議長、櫻井亜莉沙委員、石塚貴久委員、  
秋元洋子委員、崩口欣美委員、佐々木直委員、齋藤るみ委員、  
長谷川美樹委員、正岡美樹委員

(2) 事務局

茂木図書館長、中野副館長、立澤主幹、松井主任

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 1名

6 内容 以下のとおり

<議事要旨>

- 1 開 会
- 2 議 事

\* 越谷市立図書館協議会運営規則第1条第3項の規定により、議長は協議会の会議を主宰する。

### 3) 報 告 事 項

#### (1) 令和4年度事業報告について

- (事務局) 令和4年度事業報告について報告。
- (議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。
- (議 長) 特にご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

#### (2) 令和4年度決算について

- (事務局) 令和4年度決算について報告。
- (議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。
- (議 長) 他にご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

#### (3) 令和5年度先進図書館視察の内容について

- (事務局) 令和5年度先進図書館視察の内容について報告。
- (議 長) ありがとうございます。委員の皆さんも事前に資料をご覧になっているかと思います。何かご質問等はございますか。
- (委 員) 視察日は、ふみの森もてぎ図書館は開館していますか。
- (事務局) はい。視察当日は開館日となり一般の利用者もいらっしゃいます。
- (議 長) 提案理由にあった、南部図書室についてですが、ホール棟が、少し作り替えになり、南部図書室が移るということですね。そこで図書館として、南部図書室をどう改善していこうかという考えの中で、茂木町を視察先として選んだのでしょうか。
- (事務局) おっしゃるとおり、元々は全てを作りかえるという話でしたが、商業棟のみ建て替えとなり、南部図書室を現在の形から新たにするのであればどんな形にすればいいか、コンセプトをどこに持っていくかということも含めて検討している中で、似たような施設を見学できるのはいい機会ですので、茂木町を最終的に選ばせていただいております。
- 南部図書室は現状、ホール棟の改修・リニューアルという形で、いま南部図書室はイオン側にあり、そちらをホール棟側の方に持ってきて図書室を新たに起こすという形になると思いますが、それについては、現在、止まっている状態なので、どういう形でリニューアルされるのかなど

細かい話がまだできておりません。

そのため、今回の視察で、南部図書室の改修・リニューアルに活かせる部分等、皆さんのご意見をいただけると、それを持ち寄ってまたお話ができるかと思えます。今回そういうところも含めて選定させていただきましたのでよろしくお願いいたします。

(議 長)

タイミング的にこの会議の場で意見を言えばいいのでしょうか、それとも、10月に視察した後、まとめて言えばいいのでしょうか。

(事務局)

基本的には見に行ったときに、メモなど取っていただき意見を出していただけるとありがたいと思います。

次回の協議会の開催が、大分遅くなってしまうので、その間に南部図書室に動きが出てしまうと皆さんの意見を伝えられない可能性がありますので、できれば10月の見学に行ったその場で思ったことを皆さんに書いていただき、こちらで集約させていただいたものを図書館協議会の意見としてお話をさせていただきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

(議 長)

他に意見はありますか。

(委 員)

広報こしがや8月号に掲載されている一般質問の南部図書室の改修の予算について挙げられていますが、改修費の内訳として南部図書室にかけられるお金はだいたいどれくらいなんですか。

(事務局)

元々、全部を更地にして立て替える予定でしたが、半分の商業棟だけを建て替えるので大幅に費用は抑えられます。それ以外はリニューアルということで、内部の改装など、障がい者にやさしいバリアフリーにするといったところを含めた改修になるなど、そこまで大きくない金額設定になっていると聞いています。

そのため、どれくらいになるか細かいところは不明ですが、南部図書室は元々商業棟にあり、新たに一からとなりますので、これからどこに何ができるか決まり、どれくらいかかるかは変わってくると思います。

(委 員)

現在入っている南部図書室は商業施設の上にあります。あそこは市の施設でテナント料は払ってないんですよね。

(事務局)

南部図書室は経緯がありまして、元々はテナントという形で入る予定でしたが、今回の全体を建て替えるということで、現状は市の持ち

物になっています。

(委員)

お聞きしたいのですが、以前、南部図書室はホール棟の半地下のようなところにありましたよね。

ホール棟は小ホール・大ホール・ポルティコホールと、いま予防接種会場に使われているところと、半地下みたいなどころぐらいしか場所が思いつかないのですが、あの中のどこかに入ることなんですかね。

昔の南部図書室は少し狭く、蔵書数も少なく、いまは広い場所をお借りできているので、蔵書数も増え、ゆったりしていますが、そういう場所があるのかなど。

(事務局)

確かにおっしゃるとおり、昔の南部図書室は狭く蔵書数が少ない状態ではじまっており、そこから商業棟に移りました。その際、蔵書数を増やしていますが、にぎわい推進室等とは、基本的にできるだけ大きさを変えず、蔵書数も減らさないということでお話させていただいています。

場所は、先ほど申し上げましたとおり、どこになるのかなど話が進んでいないのでお話できるような状況ではないのですが、基本的に図書室として、扉から入った内側の大きさは確保しようということで、ずっとお話をさせていただいていますのでよろしくお願いたします。

(議長)

他に何かございませんか。

(委員)

いま出ている意見を含めて、10月6日に視察の中で、南部図書室のリニューアルの意見を皆さんから提出していただき、それを館長が代表で提出されるということですよ。

(事務局)

はい。そのとおりです。

(委員)

先日、文庫連の運営委員会がありまして、そのときに南部図書室について、様々な意見が出たので、この協議会とは別に文庫連として意見の提出をお願いすることは可能かなど。

(事務局)

図書館協議会・視察とは別に意見を提出することは可能です。実際に、にぎわい推進室では地域の人たちに、どのようなホールや図書室にしてほしいかなど意見を聞いたりしていますので、そういった意見の一つとして、図書室にこのような意見が出ているとお伝えさ

せていただきますのでよろしくお願いします。

(議長)

他に何か意見はありますか。

(委員)

視察とは別件ですが、先日、「読み聞かせボランティア講座」を受講しまして、埼玉県内で受け入れてくれる図書館の読み聞かせ会に参加し、計画したり実施したりと勉強をするのですが、越谷市はそういった受け入れについてこれから予定されていないのですか。

そこでは、50歳以上の方を対象にした、いろいろな講座を開かれていて、越谷市にもあったらなと思ったんです。

受講されている50歳以上の方で、いろいろな講座を受けている方もいて、越谷市にもそういう方がいらっしゃると思うんです。地域家庭文庫に加盟してる方もいらっしゃいますが、加盟していない方もいらっしゃるの、図書館と密にしていけたらもっと本が好きになる方が増えていくのかなと思っております。

(事務局)

越谷市にも「読み聞かせボランティア講座」というのがありますが、PR不足なのかあまり人が集まらないのと、ずっと同じ事業になっているというのもありますので、今後、新しい事業をはじめるとも考えていこうかと思っておりますので、その中でお話しさせていただければと思います。

(委員)

私も、読み聞かせに興味があり、資料3ページにある「6月の読み聞かせボランティアコースの初級者」に参加させていただきました。初級者を受け、次の中級者向けに参加しようとしたら、経験が2～3年ないと参加できないという条件がありました。興味がある人が参加しやすいように、参加要件を経験ではなく「初級者を修了した方」などとしていただければと。

(委員)

何年か前までは、初級も2段階に分けていたんですが、コロナ禍と予算の関係等で減ってしまいました。6月の読み聞かせ講座は文庫連で行っているのですが、年に2回、春と秋に行っていたのが、年に1回に減ってしまったので、そちらもあわせて検討していただければと思います。

(委員)

参加人数が少ないようですが、それは回数ではなくハードルの関係ではないかと。私のように経験はなくても興味のある方がたくさんいらっしゃると思うので、希望としてハードルを下げてください。

たいです。

また、野口富士男文庫の講演会を毎年行っているかと思いますが、毎回事前申し込みですよね。そうすると直前に寄ってみたいと思っている方は参加できなくなってしまうので、事前申し込み以外にも、人数に空きがあれば参加できるなどあったらもっと人が集まるのではないかと思うのですが。

(事務局)

まず、先ほどの読み聞かせ講座の話ですが、中級の参加要件を変えるのではなく、今の初級と中級の間ぐらいの講座があるといいのかなと。

ただ、そうすると先ほどおっしゃっていただきましたが、予算や人員の確保、日程調整などがあり、希望に添えるかどうかはご返答できないのですが、先ほど言ったように事業等について変えていこうと考えていますのでよろしくお願いします。

2点目の野口富士男文庫の講座・講演会について、昨年度も80人程の方たちが実際に参加していただいておりますが、席など含めて場所の関係やコロナの関係があり、どうしてもある程度の空間を作らなくてはいけないというところで整理させていただいております。

今年度どうするかはこれからですが、基本的にはまだ満席で行うのは難しく、どれくらい来るか分からないというところもあり、状況次第で検討させていただきたいと思います。希望にかなうかどうかお答えできませんが、お話は受けさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(委員)

児童文学講演会について、平日の午前中に開催していますが、ちょうど読み聞かせをはじめる幼児のお母さんお父さんは、平日の午前中だと仕事をしている方が多いのではないかと。土曜日など曜日の変更についても検討していただけるといいのかなと思います。

(委員)

児童文学講演会はここ数年、金曜日の午前中とか多いですね。

(委員)

ただ、参加人数があまり多すぎるのも、ホールに入らなかつたりすると思うのでどうなのかなと。

(委員)

私は、小さいお子さんがいらっしゃる方にぜひ聞いていただきたいなと思います。講座の中で預かり保育もしていますが、預かれる人数はそんなに多くないので。

(事務局)

保育所等にお子さんを預けていれば、お子さんを連れて来ずに済むと思います。

(委員)

保育所によっては、仕事が休みの日は保育所には預けないでほしいというところもあるので、興味があっても仕事を休んでまで参加はちょっとどうかなと思われ方もいると思うので、検討していただけたら。せっかく子どもたちが大好きな絵本作家さんが講演してくれているので、もっとたくさんの方に聞いていただけたらと。

(事務局)

お借りしている会場が、一般の方に開放しているので、基本的に市民の方が優先されます。あとは抽選になることもあり、土日だと中々難しいです。採算を取らなければいけない事業というところもありますので、一般の方が優先されることもあり、土日の開催は難しいというのが1点と、今お話いただきましたが、有名な作家さんと呼ぶのにも予算が必要となりまして、何とかやりくりして、来ていただいている状況ですが、有名な作家さんだとそれなりの予算をつけていただかないと中々難しいという面もあります。必ず高名な方を呼べるというお約束はできませんが、努力はさせていただきます、皆様のご意見は真摯にこちらの方で受けとめ、検討させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございます。いろいろ話が広がっていますので他にも、あるようでしたらどうぞ。

(委員)

南部図書室のリニューアルの参考にという目的となりますと、帰りのバスの中で委員の皆さんでディスカッションする時間をとっていただけると、新しい発想が出てきたりすると思うのでよろしくをお願いします。

(委員)

視察とは関係ない話ですが、以前は団体貸出を活用させていただき、授業で使わせていただいていたんですが、車で取りに来て、車に積んで返却するとなると平日はとても難しいです。授業を抜けられないので、結局土日の部活の帰りなど、車を出せるときに行かなければならないということがあり、去年も利用できていません。できれば団体貸出を利用したいと思っているので、さいた

ま市のように本を届けていただくなど、そういったシステムがあると利用しやすくなるのかなど。

(事務局)

その点につきましては、移動図書館車が学童保育室にも本を届けていますので、今、指導課と相談させていただいております。学童保育室が青少年課とって別の課が担当となっておりますので、そちらとも相談し、団体貸出の際、学童保育室に移動図書館車で団体貸出分を置いていき、返却については、学童保育室に置いていただければ、移動図書館車の巡回の際、受取り返却という形をとらせていただくようにできないか相談させていただいております。

ただ、中学校については学童保育室がないので同じようにはできませんが、いろいろな課と相談させていただいておりますので、よろしくをお願いします。

(委員)

学校の団体貸出とはどういうふうにしてらっしゃるんですか。

(事務局)

貸出票を書いていただき、総合学習や読む学習で、こういう本を何冊必要など冊数の多いものをご提供させていただいております。大体ダンボール2箱になりますが、貸出させていただき、それを授業に使っていただくという形になります。その後、返却していただくのですが、先ほど先生もお話された通り、土曜日などに先生が車で本の入ったダンボール箱を取りに来たり、返却に来たり、場合によっては定時後、学校帰りに寄っていただくなど、遅い時間に来ていただくこともあり、苦勞をおかけしているところもあるのですが、先ほどお話したように、移動図書館車が学童保育室に行っているの、団体貸出の本を学童保育室に預けることができれば、貸出と返却を先生たちの空き時間に取りに行くことができるのではないかということでいま相談させていただいております。

あともう1点、その関係で電子書籍を、生徒全員が見られるようにということで指導課とお話させていただいております。いまアンケートをとり、どのくらいの枚数の図書館の利用券をこちらから皆さんにお配りすればいいのかというところを算段しています。電子書籍は基本的に1人が読んでいると、他の人は読めませんが、学校向けのライセンスというものを購入することにより、1冊を複

数人で読めるようになります。しかし、それにも予算がかかるので、お願いはしていこうとは思っていますが、お約束できない状態です。ただ、色々な方に利用できるように考えておりますので、よろしく願いいたします。

(委員)

文教大学の図書館と越谷市立図書館は、包括協定・協力関係にあり、以前は移動図書館で物流のやりとりがありました。いまはほとんどなく、何かできることがあれば協力していけたらなと思っております。また、8月中は高校生にも開放しており勉強スペースとして利用いただければと。

(委員)

大沢小学校では、図書ボランティアの読み聞かせに参加する方が多く、今までは週に1～2日のサイクルだったのが参加人数が多すぎて、月に1回になっております。その中には、幼稚園や小学校に通っているお子さんがいる方もいて、図書館ボランティアをやりたいという方がたくさんいらっしゃる、それだけ興味のある方が多いのだと感じました。

視察に関しては、資料が届き茂木町になったことが分かりましたが、南部図書室に関わる視察であるということなので、意見を出す一員としてしっかりと見てきたいと思っております。

(議長)

ありがとうございます。

それでは、これで協議会を終了とさせていただきます。

委員の皆様のご協力を賜り、本日予定していた議事を無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。

以上で議長の任を降ろさせていただきます事務局へお返しします。

4 閉 会